

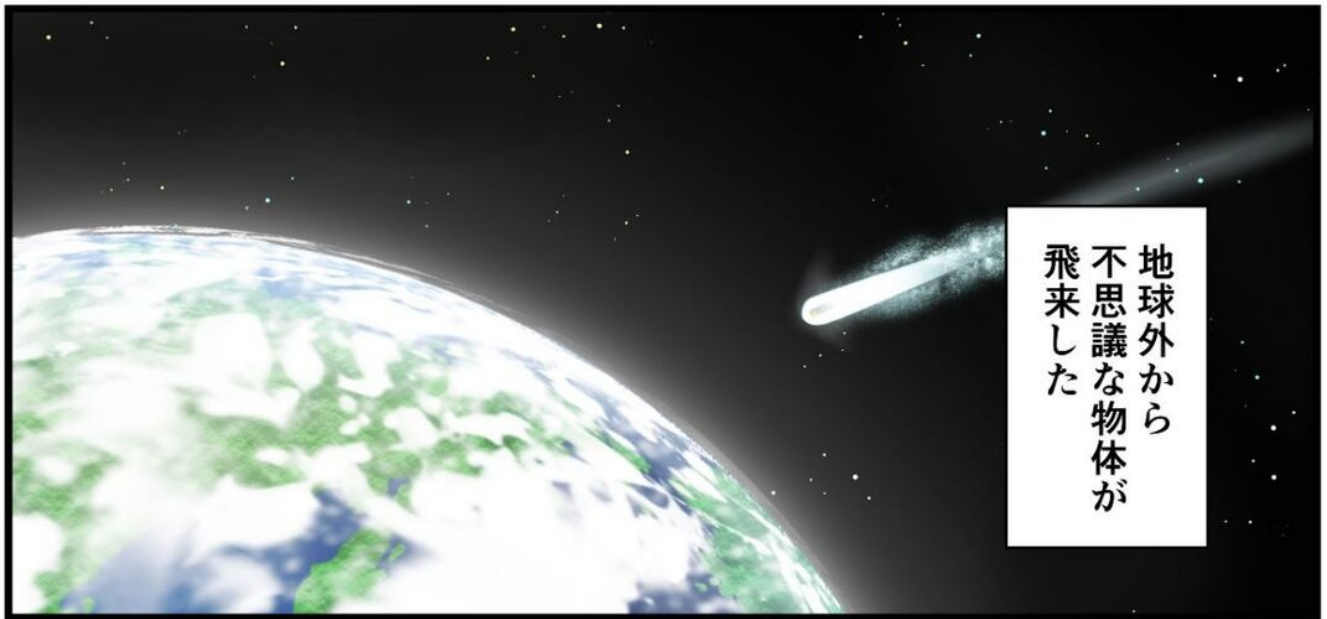




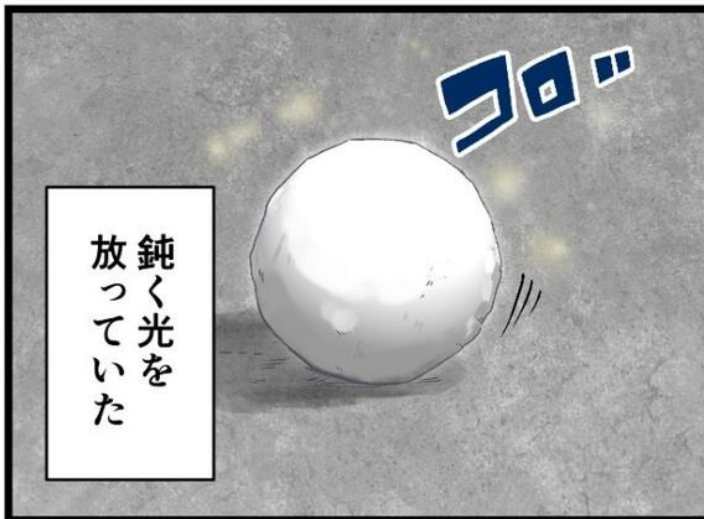
2072年
7月xx日
20時頃



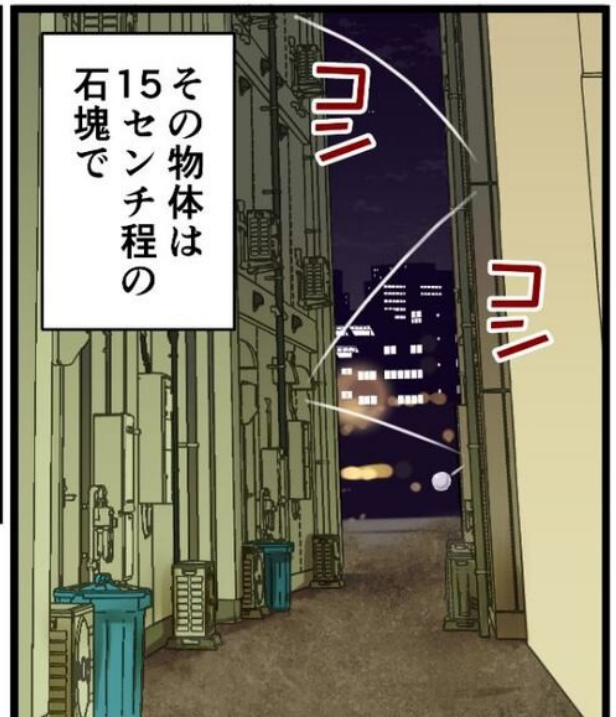
報告書



地球外から
不思議な物体が
飛来した



鈍く光を
放っていた



その物体は
15センチ程の
石塊で

コン
コン

被害者A

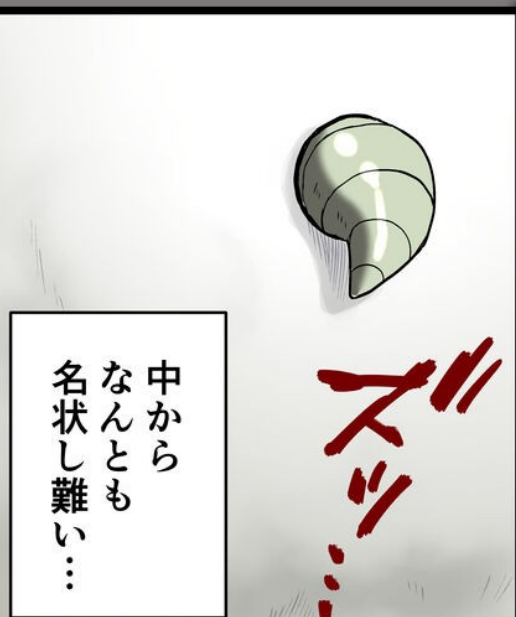
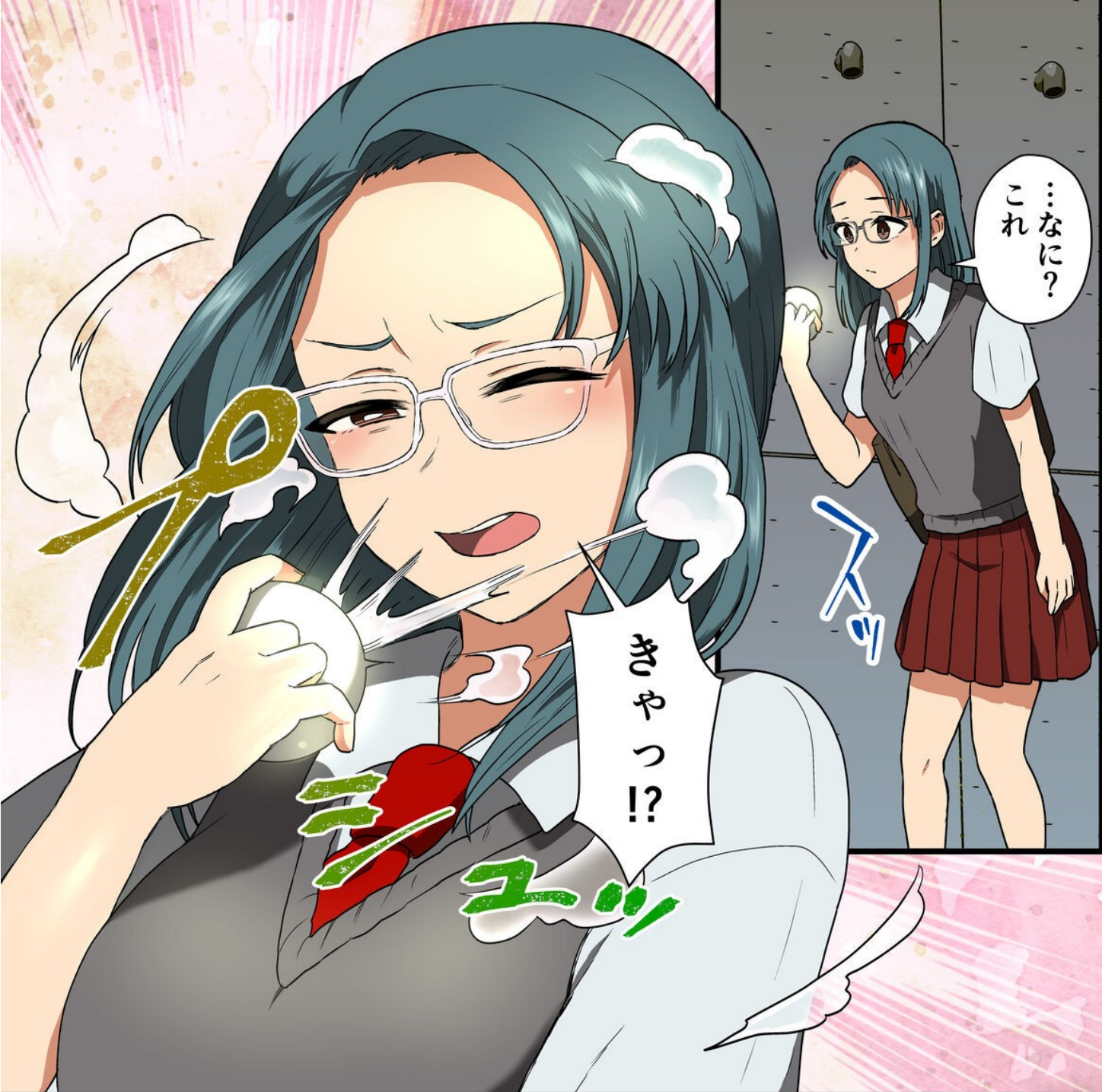
ス
ク

彼女は塾帰り

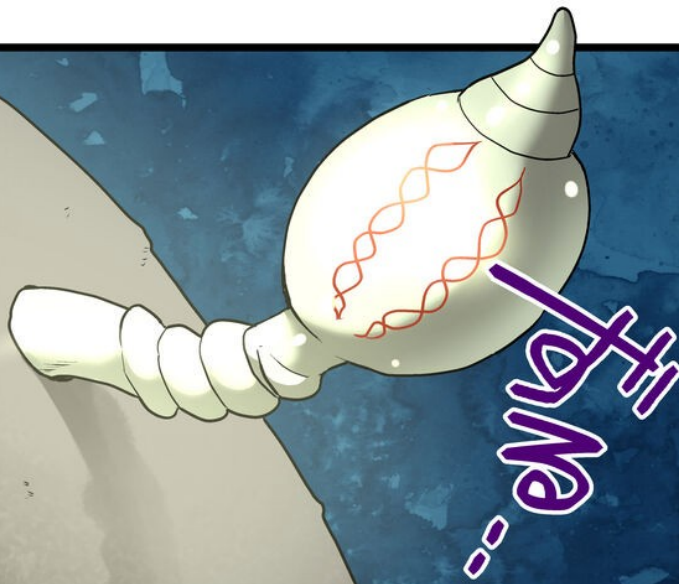
ス
ク

近道をする為
路地裏を
急いでいた。

!



肉厚な
ヒルのような



精子のような
生物が
飛び出した

※以下
生物もしくは
寄生物と呼称する

大きさは
5センチ程で
生物に口や
排泄穴は無く



頭には尖った
針のような
器官が備わって
いた

その生物は
被害者Aの手を
素早く
這いずり周り

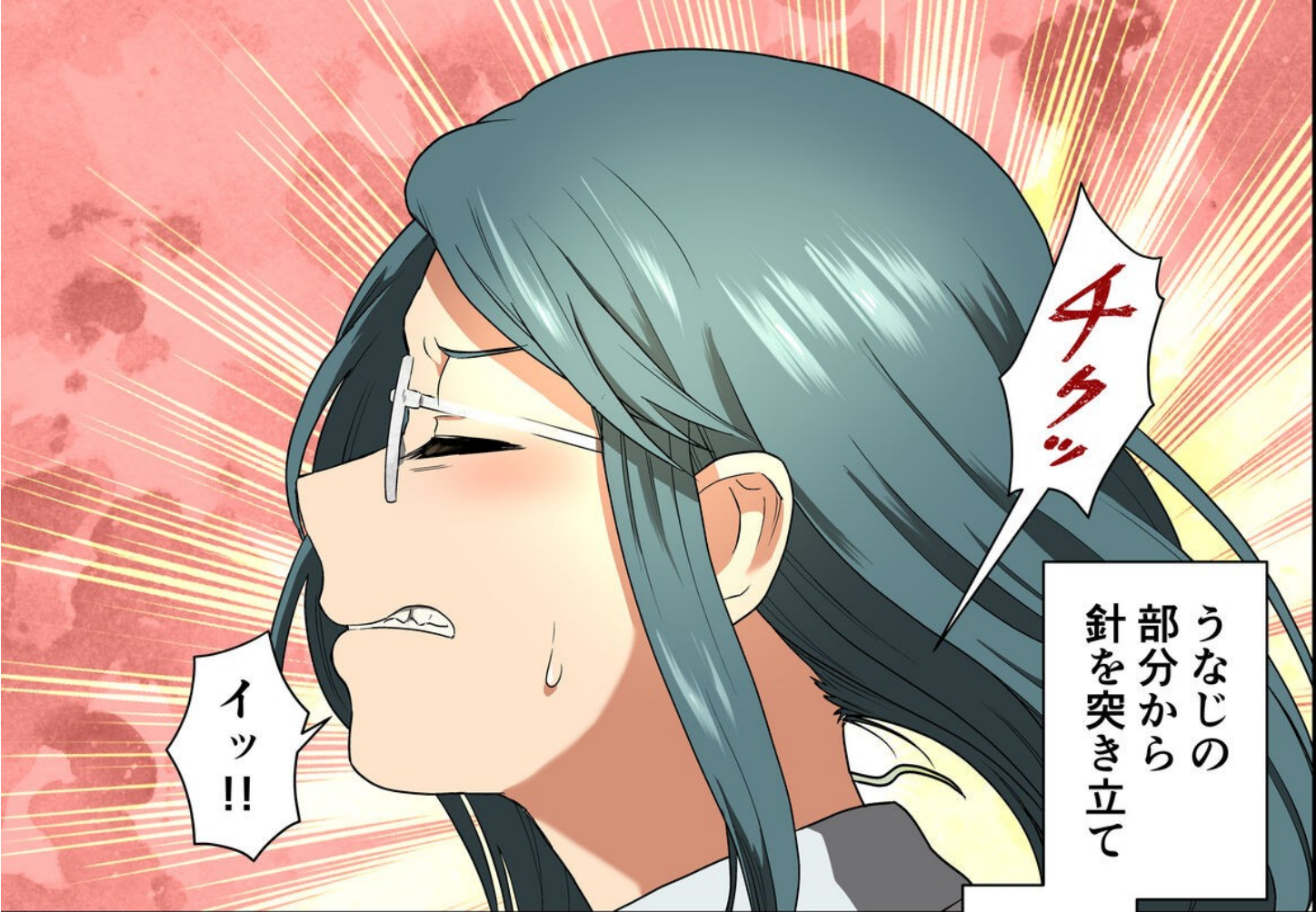


ひっ!?

イヤっ!
虫!?

鎖骨の上を
とおって





イツ!!

チクッ

うなじの
部分から
針を突き立て



いやあ!
なによこれ



体内に
侵入した

スッ

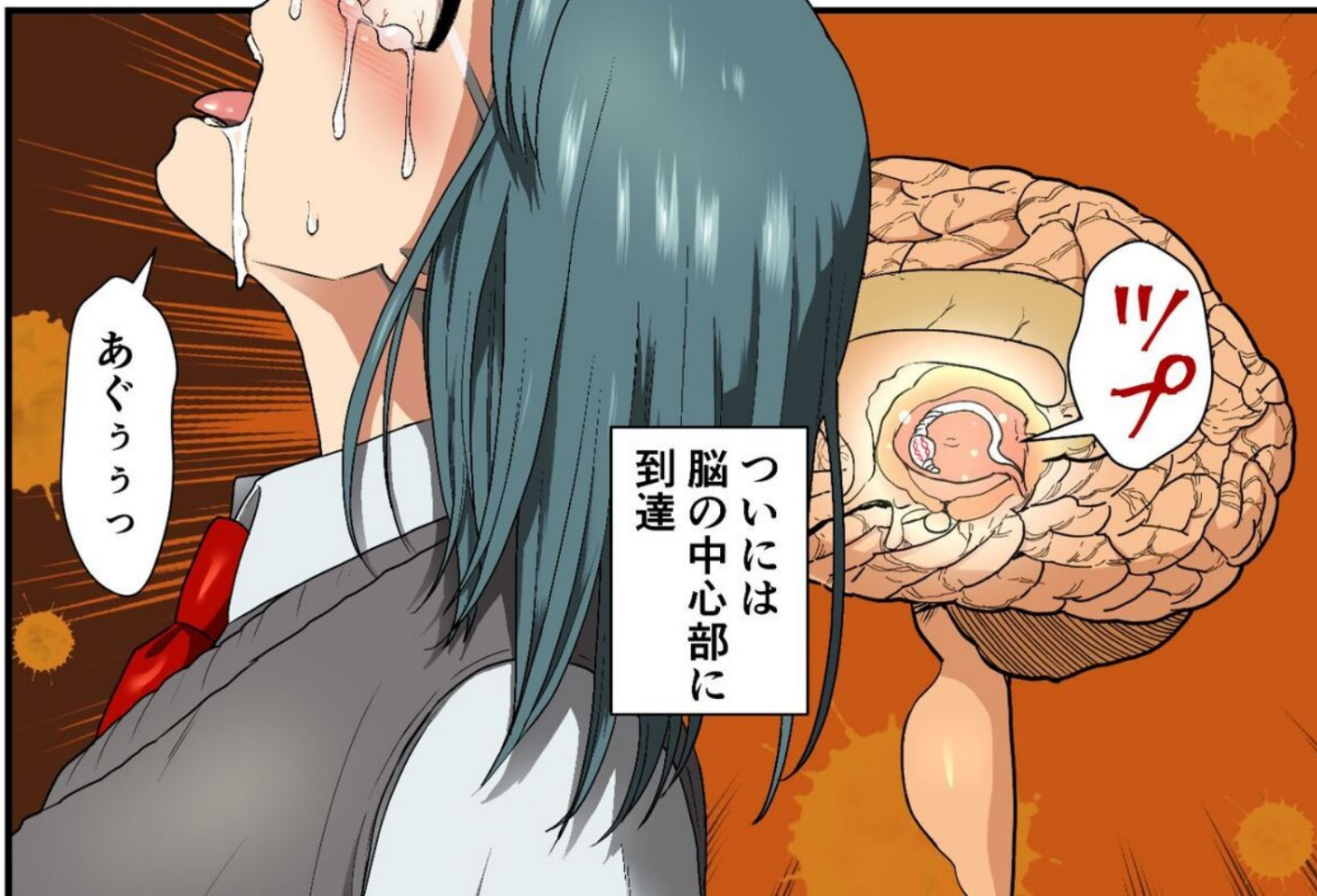
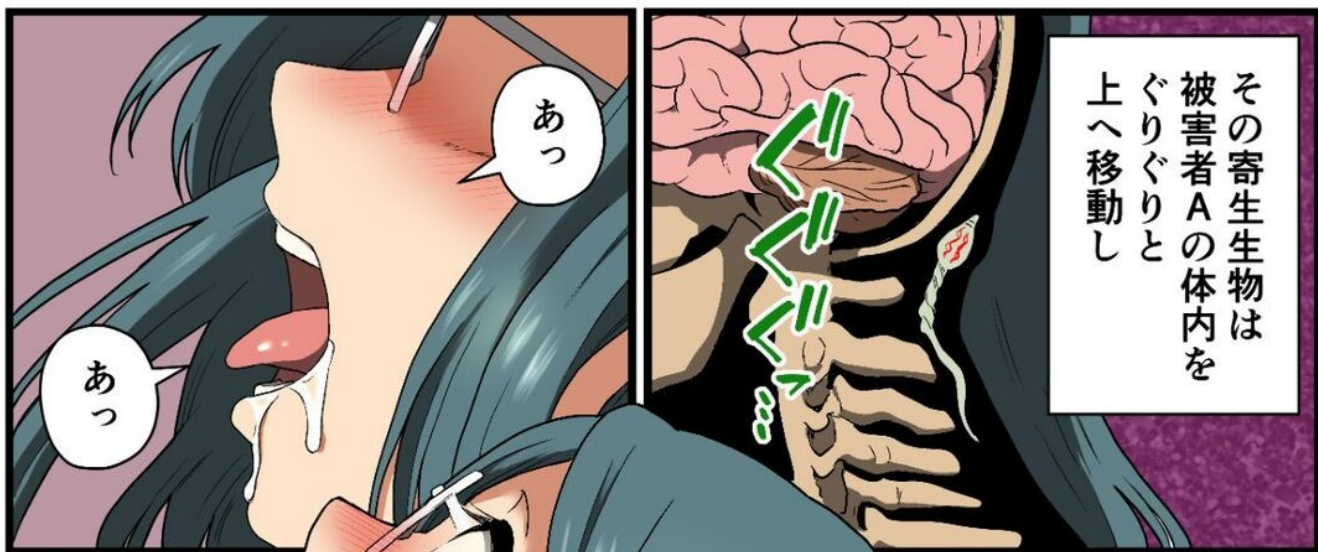
ノ
ノ
ノ
ノ



何か首に
刺さった!
ナカに入って
くるう!!

ひ
や
あ
あ
あ

被害者Aは
必死に抵抗した



寄生生物が
乗った脳は

急速に
成長ホルモンと
生殖信号を
送り出し

乳房と臀部は
大きくなり

筋力は常人よりも
大幅に強化された

さらに

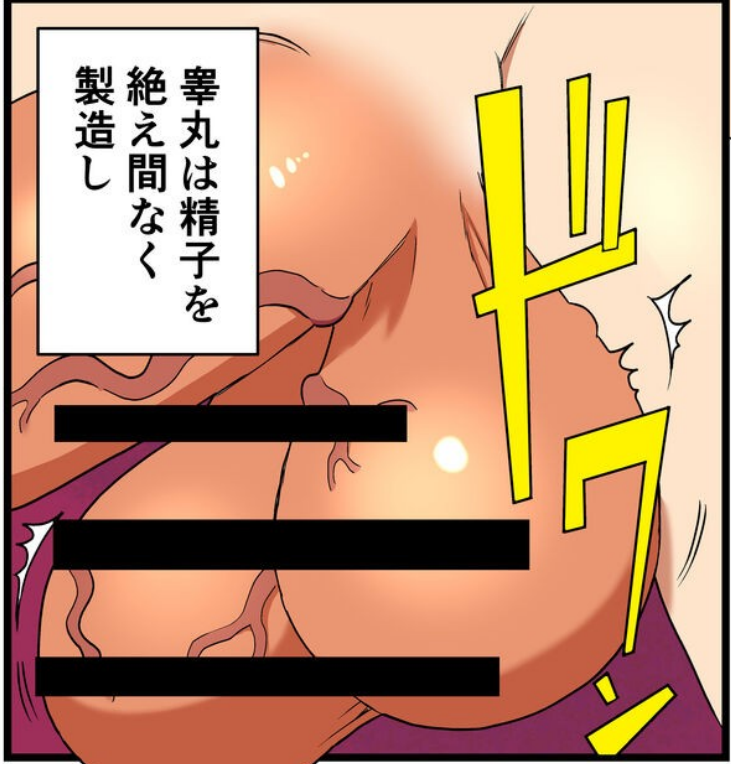


男性器のような
生殖器官も
生えてくる



体からは
他のメスを
誘い出す

強力な
フェロモンが
放たれた



睾丸は精子を
絶え間なく
製造し



体が熱い
頭に声が
聞こえる…

繁殖しろ…
繁殖しろって？



ぬふうん♡

どうなっ
ちゃったの？
私の体

は〜♡

は〜♡



いやあ
もう♡

私の体勝手に
変えないでえ♡

ビク
ビク

ビク
ビク



その時
第2の被害者が
フェロモンに誘われ

フラ…

フラフラと
路地裏に迷い込む



会社から
帰宅中だった
被害者Bは

無意識の内に
路地裏へ
誘い出されていた



こんどんお?

なんかいい
匂いがするう…



光に誘われる
蝶のように

被害者Aの
居場所へと
近づくB



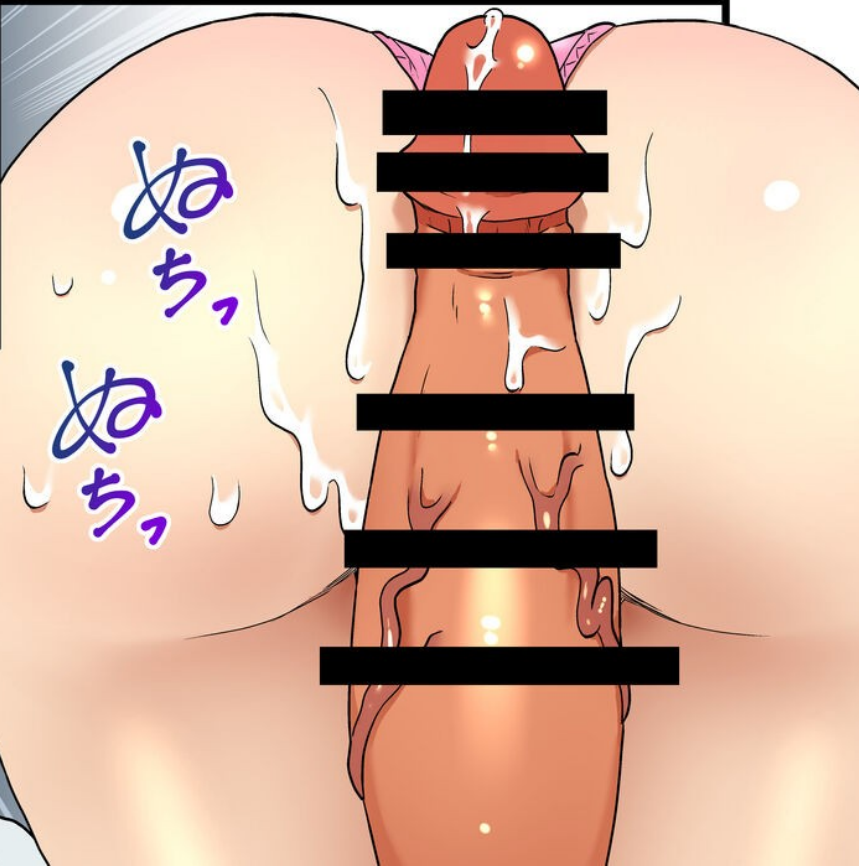


被害者Bは動物がマーキングをするかのように

被害者Aの陰茎に臀部を擦り付ける

その刺激により寄生生物は

被害者Aの脳に新たな生殖信号を送り出した





ぐ...ぐひい!!
♥



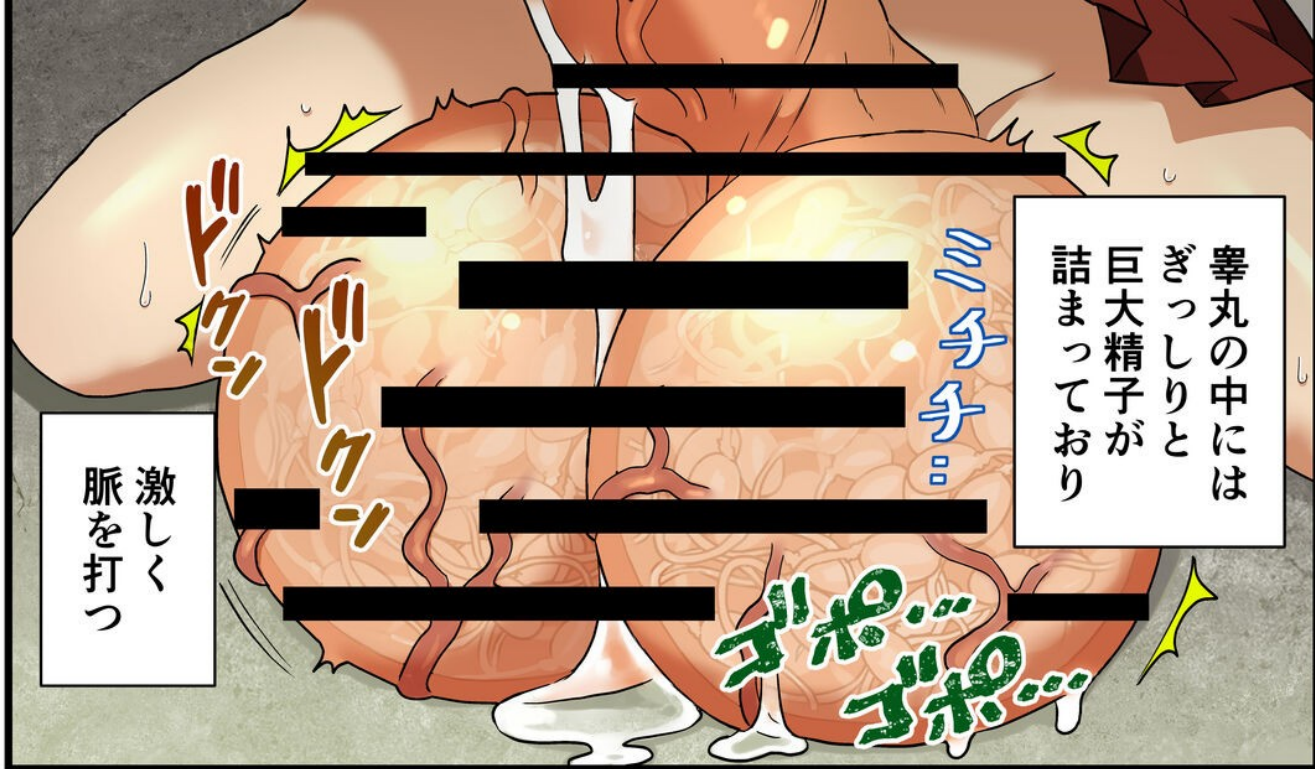
睾丸は
直径約30cm
程まで膨らむ



生殖信号により
被害者Aの
陰茎は

大きな音を
たてて
せり上がり

ミッ
クッ



睾丸の中には
ぎっしりと
巨大精子が
詰まっております

ミニチチ

激しく
脈を打つ



性衝動に
負け

被害者Bに
襲いかかる
被害者A

我慢できないいいいいい!



寄生生物に
よって
筋力が強化された
被害者Aは

被害者Bの下着を
簡単に破り捨てた



被害者Bは
我を忘れて
おり

フェロモンにより
ドロドロに
濡れた膣口は
とろけていた

まはっ♡

いれてっ!
いれてっ!

早くっ
♡

♡ フリ ♡
♡ フリ ♡

♡ フリ ♡
♡ フリ ♡

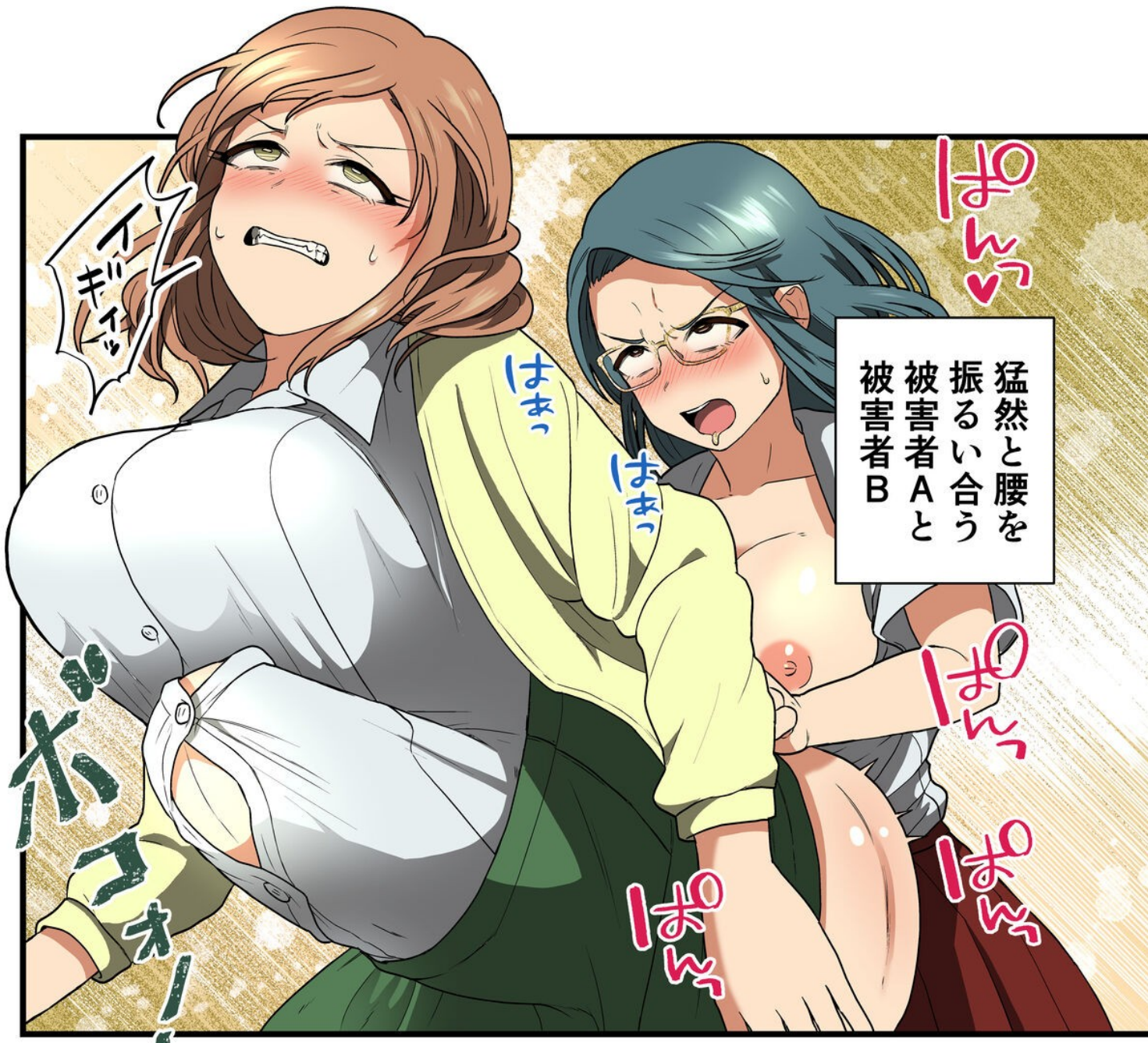
被害者Bの
膣口は

ぬとぢ

乱暴に
振り込まれる
被害者Aの
巨大な逸物を

難なく
受け入れる

ズッ
ッ
ッ



猛然と腰を
振るい合う
被害者Aと
被害者B



地面についで
しまうほどに膨張



被害者Aの玉は
膨らみつづけ



前立腺が刺激され
強制的な射精を
促されるが

脳から出た
信号により

バチ

バチ

バチ



脈打ちながら
超巨大な精子が
製造されていく

フキユ

フキユ



巨大精子は
まだ出ない

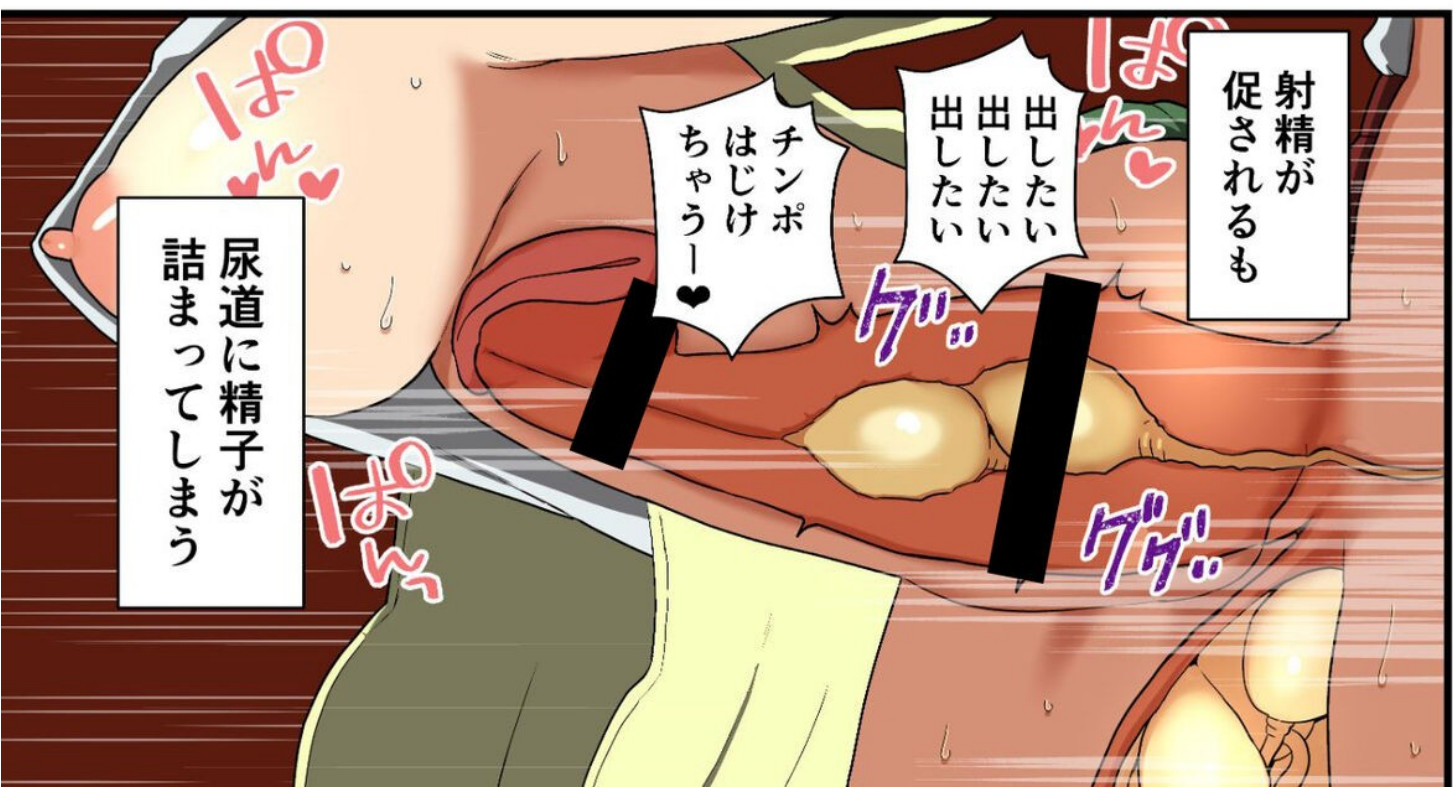
ンギイ!!
なんで!?

なんで
でないのお!?

フキユ

ほん
ほん
ほん

ほん
ほん
ほん



射精が
促されるも

出したい
出したい
出したい

チンポ
はじけ
ちゃうー♥

尿道に精子が
詰まってしまう

ググ

ググ

ほん



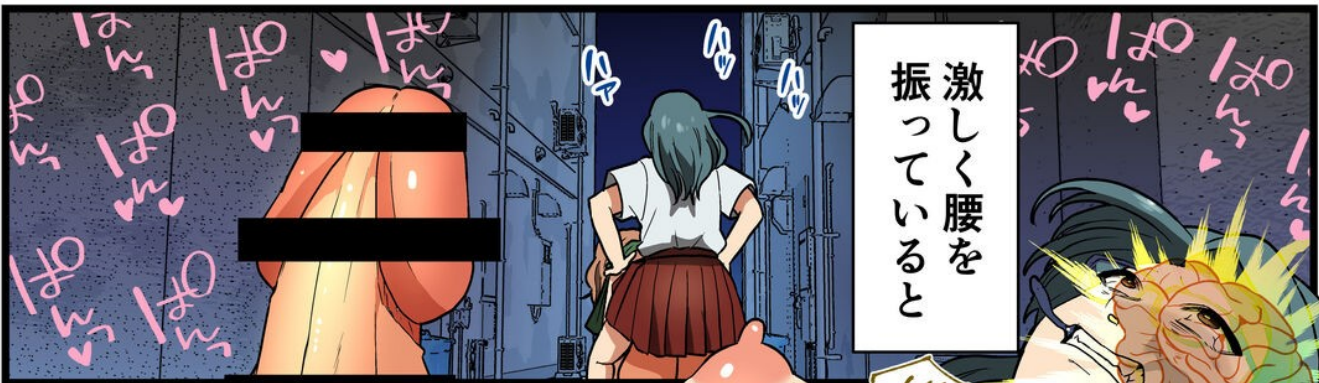
涙と鼻水で
ドロドロに
なりながら

射精を
懇願するA

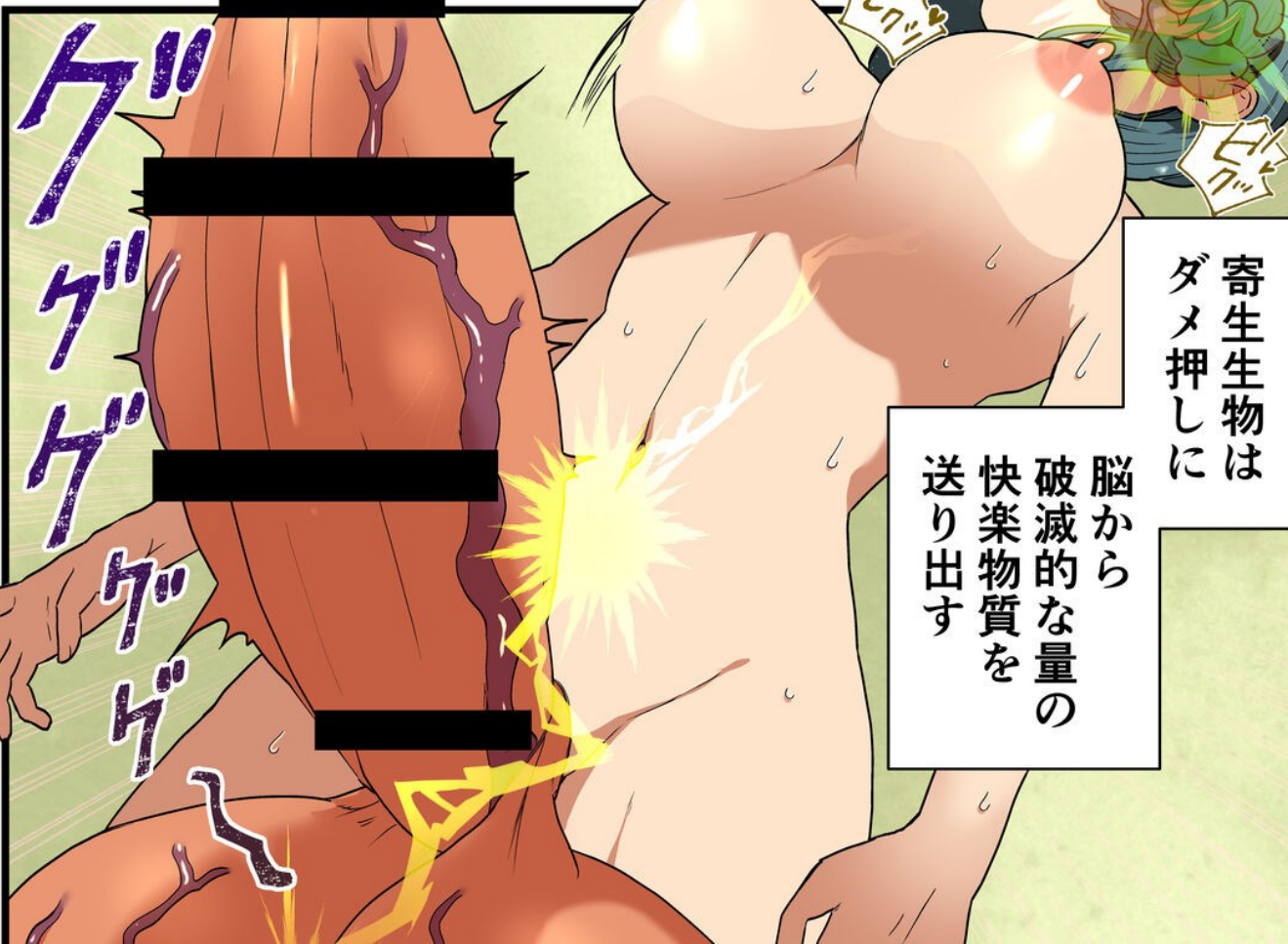
でてえ
出させてえー♥

お願いじまらずう
頭おかしく
なりぞう♥

オムツ
ン



激しく腰を
振っていると



寄生生物は
ダメ押しに

脳から
破滅的な量の
快樂物質を
送り出す

グ
グ
グ
グ
グ

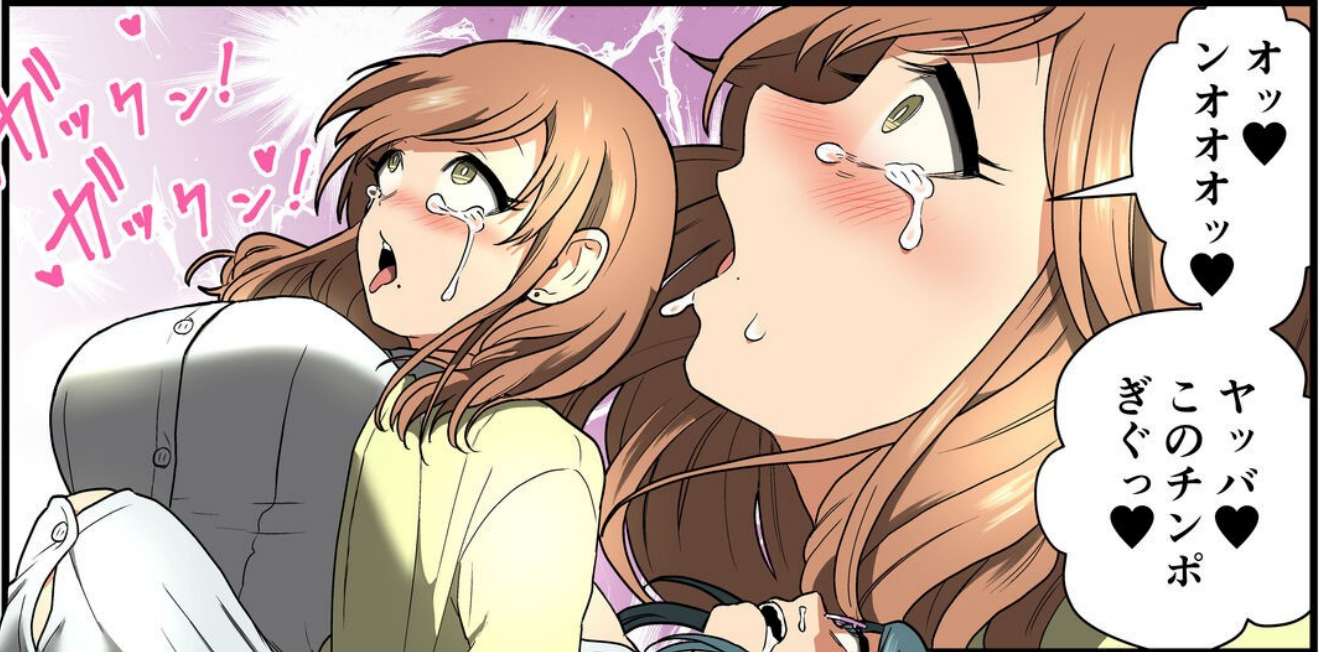


被害者Aは
涙を流し
最後の絶頂を
迎える

あだま
ばぐはづ
するうう!!
♥

アギヤー!
ぎもちよぐで

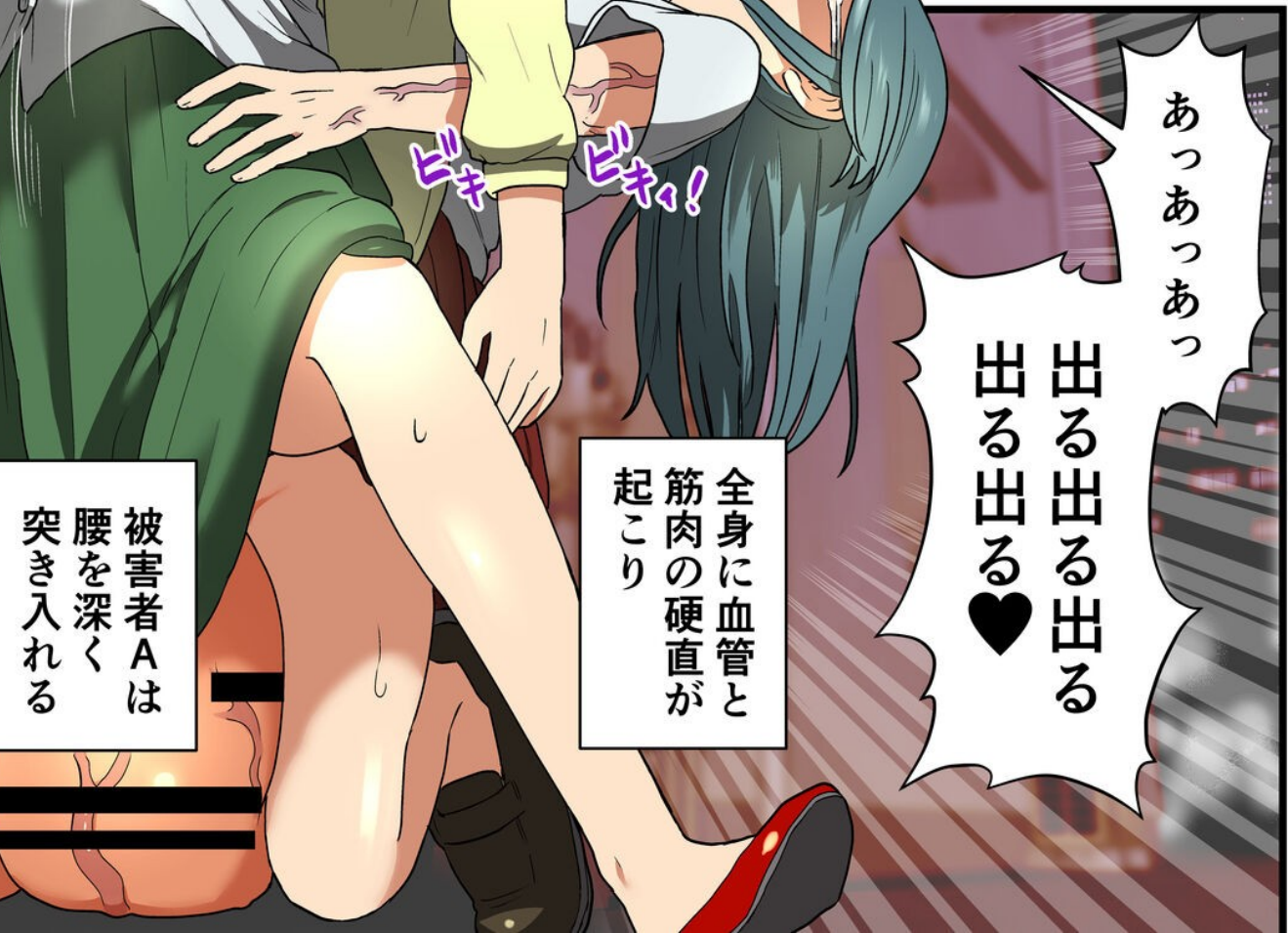
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ



オツ♥
ンオオオツ♥

ヤッバ♥
このチンポ
ぎぐっ♥

ハッハッ!
ハッハッ!



被害者Aは
腰を深く
突き入れる

全身に血管と
筋肉の硬直が
起こり

あっあっあっ
出る出る出る
出る出る出る
♥

ビキ
ビキ!



ん

きゅん!!

トクユル

いっく

いっく!

クッ

クッ

いっぐー



クッ

クッ

クッ



あっ♡

はああっ♡

被害者Bの腹は
巨大に膨らみ

壁に手を
ついた状態で
腹が地面について
しまっていた



その時
被害者Bの胎内で
新たな生命が
誕生しようとしていた



しかし
不可解なことに
精液は溢れ出ない

強力な
フェロモンにより

正気を失った
被害者Bは

母になる喜びに
震えていた

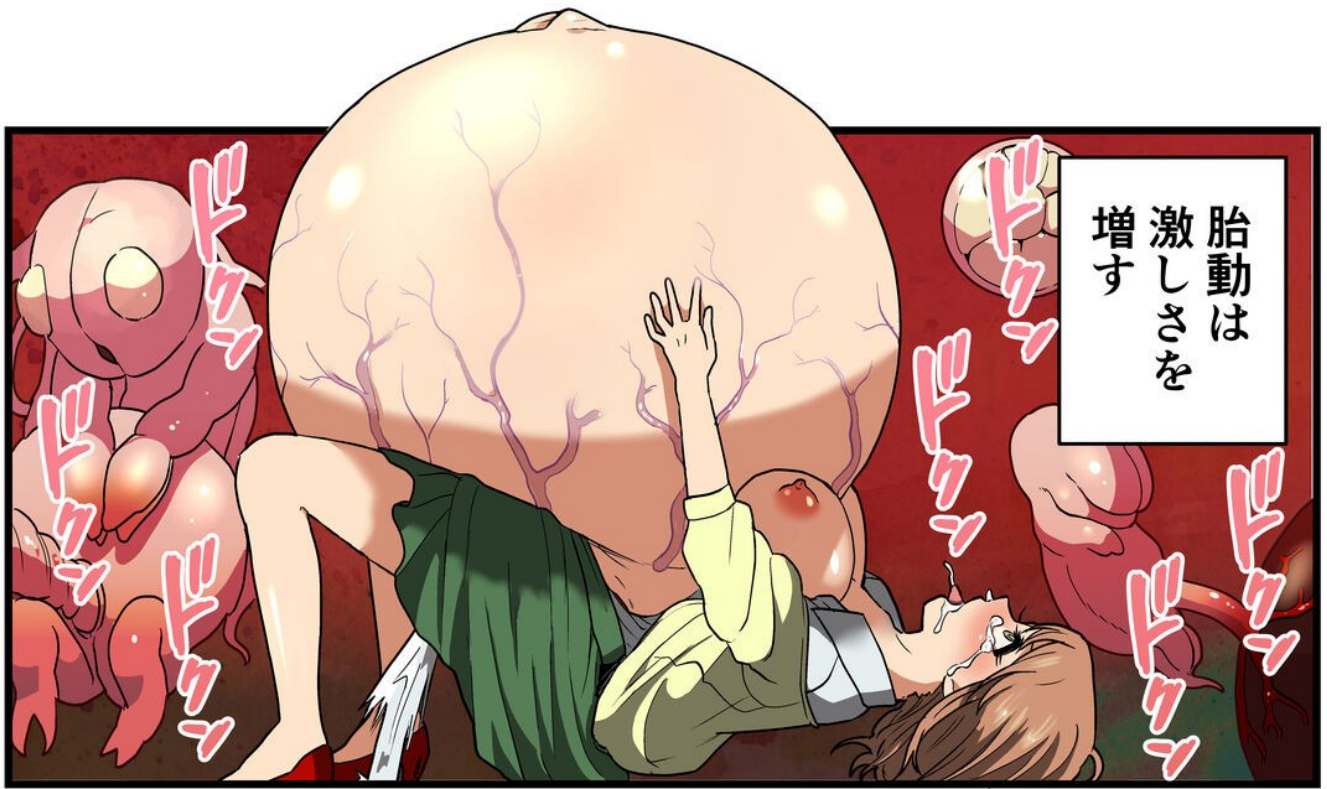
仰向けの体制になり
うっとりとお腹をさする

胎動や体が
壊される刺激が
快樂へ変わる

どんどん膨らみ
胎動する
腹部には

栄養を運ぶ為
血管が多く
血走る





胎動は
激しさを
増す



はちきれん
ばかりに
腹部は膨張し

被害者Bは
快楽に陶酔
しきっていた

はっ♡

はっ♡

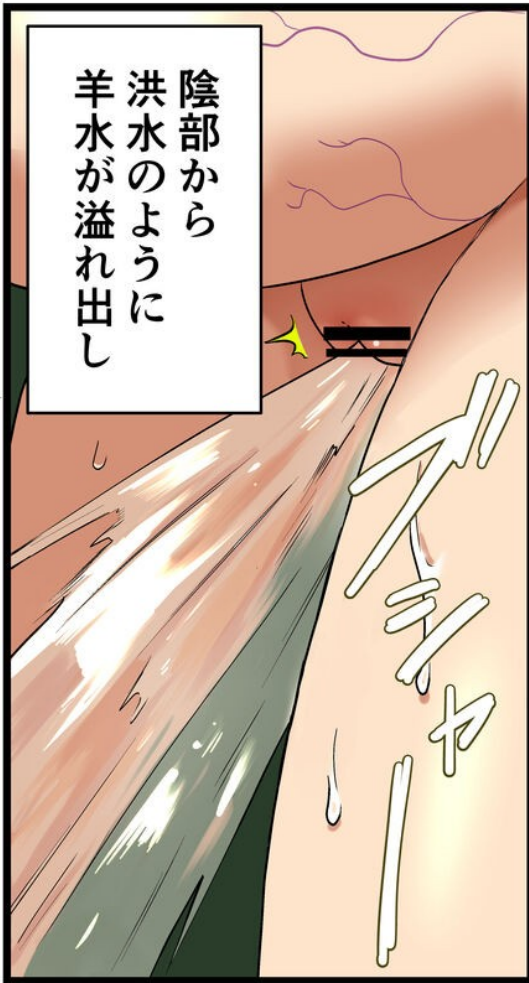


そして
ひと際大きな
胎動の後に

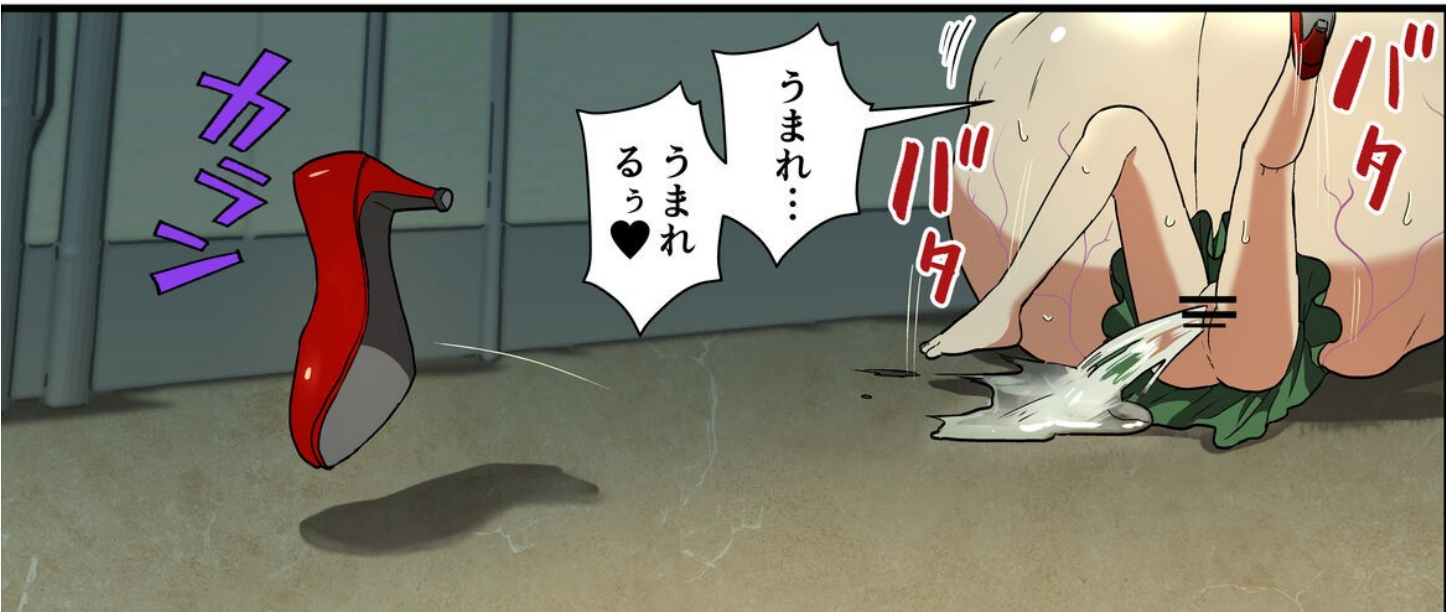
被害者Bは
出産の時を
迎える



音を立てて
母乳が吹き出る



陰部から
洪水のように
羊水が溢れ出し



うまれ：
うまれ
るう ♡

バタ
バタ

カラ
ン



歪に…

突き出る
ように



臍が次第に
膨れ上がる



被害者田の顔が
苦痛と快楽に
歪む

そっちじゃない
そっちからじゃ
ないのおお♡

や…やめてえ

やがて勢いよく
触手が飛び出る





アッ

腕で腹の皮を
押しつける
ように

破るように

新たな生命体…

エイリアンクイーンが
産み出された

ガッ

ー

ユ



んおお
おおツ ♡

オオツ! ♡

ビクン♡
ビクン♡

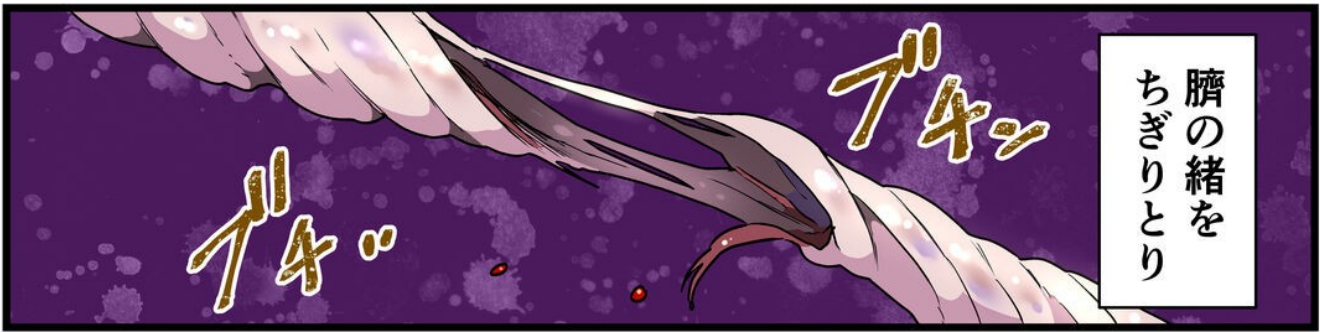


エイリアン
クイーンは

胎盤を
無理やり

被害者Bの
腹から
引っ張り出し

臍の緒を
ちぎりとり



そして
出産により
腹部の皮が垂れ
息も絶え絶えな

被害者Bを
踏みつけ



暗い街へと
歩を進める

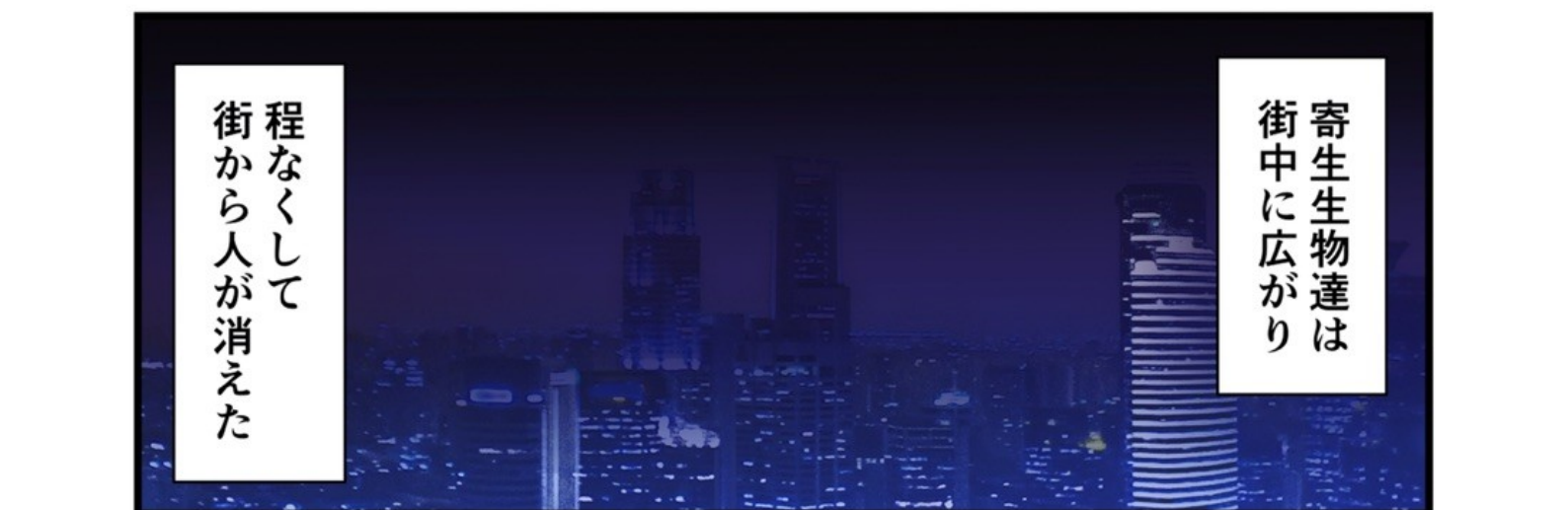




エイリアン
クイーンは

体から
先ほどの
寄生生物を

無数に
放った



寄生生物達は
街中に広がり

程なくして
街から人が消えた

被害者A 佐藤涼香

塾帰りのどこにでもいる普通の少女。
学校の成績も良く、真面目な性格
人付き合いは苦手で、浮いた話はない。
しかし自分も燃えるような
恋がしてみたいと
恋に恋している。

寄生エイリアンの宿主になり、
フタナリ化。
寄生型エイリアンに脳の視床下部
を乗っ取られ(意識はある)
繁殖の事しか考えられなくなる。

乳首や生殖管の先は血流の
変化が激しく
常に雌を誘い出す為蠢いている。
また、その体からは
強力なフェロモンが発生しており、
母胎に適合する者を誘い込む。





被害者B 岸田唯

会社帰りのOL、
ビッチで男性経験も多い。

普段の彼女はそのあざとさで
男達を手玉に取り、利用している。

しかし、いまや
被害者Aの発する強力な
フェロモンにより、
脳の一部機能が損なわれ、
正気を失っている。

寄生型エイリアンのクイーンを
出産する為の
母胎にされる。